

令和6年度 社会福祉法人ふくおか福祉サービス協会 事業報告

Ⅰ. 事業実績

令和6年度は、新型コロナウイルス感染者は一定数発生したが、これまでの感染症対応ノウハウを活かし、感染症発生状況を長期化させることなく収束させることができたことで、今後の感染症対策の標準モデルを確立することができた。

事業については、新規事業として、東部支部に併設する形で「定巡 東部」を開設し、訪問介護分門で初めて24時間・365日サービス提供を行う、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業を開始し、より多くの方の在宅生活を支えることができる体制を整えた。

事業全般については、複数の事業において前年度以上もしくは前年度と同程度のサービスを提供することができ、物価上昇に対応するために行った職員の処遇改善による人件費増額を踏まえても、安定的な経営を行うことができた。

しかしながら、訪問介護事業については、令和6年度介護報酬改定において報酬が約2%引き下げられたことに加え、ホームヘルパー（訪問介護員）の著しいマンパワー不足もあり経営的には厳しい状況が続いている。

令和6年度の各事業における実績は次のとおりである。

（Ⅰ） 第一種社会福祉事業

① 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

原則として、要介護3以上の認定を受けた入居者に、入浴・排泄・食事等の介護、機能訓練・健康管理等を行うとともに、入居者一人ひとりが、地域の中で、いつまでもその人らしく、心穏やかに、笑顔で、安心して過ごせるように、日常生活の支援を行った。

令和6年度事業計画の重点項目（以下、「重点項目」という。）としていた職員のキャリアアップ及び人材確保を目的とした介護福祉士実務者研修については、応募者が少数であったため、開講時期を延期した。

区分	定員	令和5年度実績 ^(注)	令和6年度実績 ^(注)
入居者数	50人	41.6人 / 日	42.5人 / 日

（注）入院中の入居者は除く。

（Ⅱ） 第二種社会福祉事業

① 訪問介護サービスに係る事業

ア 要介護者への訪問サービス

要介護利用者の生活・暮らしを支援するため、利用者の心身の状況に応じた身体介護や生活援助のサービスを提供した。

訪問介護員の減員・高齢化などによるサービス提供量の減少を踏まえ、「サービス提供エリアの重点化」などの業務効率化に順次、着手したものの、利用者数の増加には至らなかった。

区分	令和5年度実績	令和6年度実績
利用者数	447人/月	422人/月

イ 要支援者・総合事業の事業対象者への訪問サービス

要支援等利用者の希望する暮らしの維持や継続ができるよう、利用者の心身の状況に応じた介護予防サービスを提供した。訪問介護員減員・高齢化などによるサービス提供量の減少に伴い、前年度と比較し実績が下がった。

区分	令和5年度実績	令和6年度実績
利用者数	773人 / 月	730人 / 月

ウ 障がい福祉サービス

障害者総合支援法に基づき、障がい者の生活(暮らし)の維持や継続ができるよう、利用者の心身の状況に応じた身体介護や家事援助のサービスを提供した。

また、6月には東部支部で行動援護サービスを開始するなど、利用サービスの充実に努めた。

区分	令和5年度実績	令和6年度実績
利用者数	180人 / 月	177人 / 月

② 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業

令和6年12月より『定巡東部』にて定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業を開始した。要介護状態が重篤化した利用者等が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、利用者の心身の状況に応じて、定期的な巡回訪問（計画に基づき、1日複数回のサービスを提供）や、随時通報への対応

（24時間利用者からの相談に対応し、必要時は訪問してサービス提供）を実施した。

区分	令和6年度3月実績
利用者数	2人 / 月



③ 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）事業

入居者一人ひとりが、家庭的な環境のもとで、自分らしく安心して過ごせるように日常生活の支援を行った。

重点項目としていたチームケアについては、2ユニット協力してケアにあたるなど、その充実を図ることができた。

区分	定員	令和5年度実績 ^(注)	令和6年度実績 ^(注)
入居者数	18人	15.3人 / 月	16.4人 / 月

(注) 入院中の入居者は除く。



ささえ手ホーム綾 レクリエーション活動など日頃の様子

④ 短期入所生活介護（ショートステイ）事業

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、介護が必要な方を短期間、施設にて受け入れ、入浴や食事などの日常生活上の支援や機能訓練などを行った。また、利用者の孤立感の解消や家族の介護の負担軽減などを行った。

重点項目としていた稼働率向上のために、ケアマネジャーとの連携強化に努め、特別養護老人ホームの空きベッド利用でのショートステイ利用者の受け入れにつなげた。

区分	定員	令和5年度実績	令和6年度実績
利用者数	10人	10.2人 / 日	9.6人 / 日

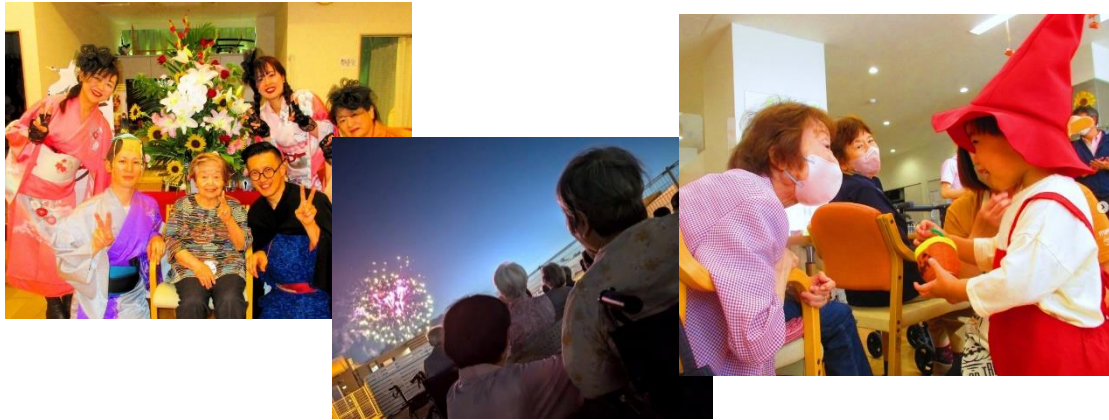
⑤ 通所介護（デイサービス）事業

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、食事や入浴などの日常生活上の支援、生活機能向上のための機能訓練、レクリエーション、グループ活動などの高齢者同士の交流を日帰りで行い、利用者の孤立感の解消、家族の介護の負担軽減などを行った。

行事などの機会を通じて、併設保育所との交流を行うなど、いと楽し独自のレクリエーション活動を適宜実施した結果、重点項目としていた利用者増を達成するこ

とができた。

区分	定員	令和5年度実績	令和6年度実績
利用者数	30人	15.8人 / 日	18.3人 / 日



地域複合福祉センターいと楽し公式Instagramより

⑥ 保育所事業

0歳から小学校入学前6歳までの乳幼児について、養護や教育に関するねらい、内容を踏まえ、年齢に応じた保育を行った。また、育児相談等を随時受けながら、保護者への情報発信に努め、安心して子どもを預けられる子育て支援施設としての運営に努めた。

地域の行事への参加、施設での高齢者との合同行事を、感染症予防に努めながら実施したほか、重点項目としていた園庭開放や公民館での育児講座を実施し、地域の未就園児の育児支援にも努めた。

区分	定員 ^(注)	令和5年度実績	令和6年度実績
園児数	50人	59.1人 / 月	59.5人 / 月

(注) 面積基準等が適正であれば、定員の1.2倍まで受入が可能。



いとぼっぱ保育園ホームページ（ブログ）より

(3) 公益事業

① 居宅介護支援事業（要介護Ⅰ～Ⅴ）

要介護者のニーズ及び心身の状況に応じた居宅介護サービス計画を作成するとともに、ご家族やサービス事業者等と連携し支援を行った。

重点項目としていた特定事業所加算の算定については、人材確保が難しく、前年度より介護支援専門員数が減ったため、ふくふく東において特定事業所加算ⅡではなくⅢの算定となった。また居宅サービス計画作成数も減少した。

区分	令和5年度実績	令和6年度実績
居宅サービス計画作成数 (居宅介護支援課)	372件 / 月	325件 / 月
居宅サービス計画作成数 (いと楽し)	31.9件 / 月	35.5件 / 月

② 介護予防支援事業（要支援Ⅰ・Ⅱ）

地域包括支援センターにおいて、高齢者が自ら「機能改善」や「自立した生活」を考え、住み慣れた地域での生活が継続できるよう、介護予防サービス・支援計画の作成を行った。

また、当該計画に基づき、効果的な介護予防・サービスの提供が確保されるよう、かかりつけ医や指定介護予防サービス事業者等との連絡調整、サービス担当者会議等を行うなど、利用者を中心とした関係機関との連携強化を図ることができた。

区分	令和5年度実績	令和6年度実績
介護予防サービス計画作成数 (地域包括支援センター分)	1センター当たり 210件 / 月	1センター当たり 216件 / 月
介護予防サービス計画作成数 (居宅介護支援課 受託分)	31.1件 / 月	28.5件 / 月
介護予防サービス計画作成数 (いと楽し 受託分)	0.7件 / 月	0.8件 / 月

③ 要介護・要支援認定に係る訪問調査事業

介護保険に係る要介護認定の更新のため、ふくふくケアプランセンターと契約をしている利用者や福岡市内の入居施設・医療機関に入所（入院）している方を対象に、保険者が他都市の高齢者等の心身の状況等の調査を行った。

区分	令和5年度実績	令和6年度実績
訪問調査件数 (居宅介護支援課)	1.5件 / 月	0.6件 / 月
訪問調査件数 (いと楽し)	0.1件 / 月	0.3件 / 月

④ サービス付き高齢者向け住宅事業

満60歳以上または要支援・要介護認定を受けている方を対象に、生活の自由度を保ちながら安心して元気に暮らせるよう、安否確認や生活相談などの生活支援サービ

ス、食事提供サービス等を行うとともに、地域の情報提供、季節の行事実施にも取り組み、入居者が楽しく安心して生活できる住まいを提供した。

区分	戸数	令和5年度実績	令和6年度実績
入居者数	31戸	30.6戸 / 日	30.8戸 / 日

⑤ 社会福祉に関する福岡市からの受託事業

ア 介護実習普及センター事業

介護講習会等を開催し、市民の介護に関する知識及び技術の普及を図るとともに、福祉用具の展示及び相談等を通して福祉用具の適切な普及に努めた。

重点項目としていた、ブログや動画などを通じた市民にわかりやすい情報発信に注力したこと、また、市民の社会活動が活発化、増加傾向にあることを受け、福祉用具展示場の一般来場や来所相談等の実績が伸びたことにより、令和6年度の年間来場者数は延べ1万人を上回った。

区分	令和5年度実績	令和6年度実績
介護講座・研修会参加者数	7,295人 / 年	6,862人 / 年
福祉用具展示場来場者数	9,927人 / 年	10,102人 / 年
福祉用具等相談件数	2,071人 / 年	2,243人 / 年



令和6年度福岡市介護実習普及センターフェスタ（9月28日開催）の様子

イ 障がい者・高齢者住宅改造相談事業

障がい者や高齢者が、その身体状況に適するよう住宅を改修・改良する場合に、本人・家族及びその関係機関より相談を受け、助言や情報提供を行うとともに、福岡市住宅改造助成制度に基づく訪問調査・完了検査を行った。

近年、国土交通省をはじめとした「住まい」に関する多種多様な助成事業が認められ、これらに関する相談が寄せられることも少なくないことから、これらの情報更新にも努める一方で、障がい者・高齢者住宅改造相談事業との目的や適用の違いを相談者に分かりやすく説明できるよう努めた。

区分	令和5年度実績	令和6年度実績
相談件数	1,627件 / 年	1,502件 / 年

ウ 働く人の介護サポートセンター事業

令和6年4月以降、センター事務所が福岡市介護実習普及センター内に移転となり、開設日時も縮小されたことなどが影響し、相談件数は減少したが、これまでと同様に、働く人が家族等の介護に関して気軽に相談できる環境づくりに努め、離職の防止や不安の解消につながるよう相談支援を行った。

また、相談者が希望する場合には、個別に継続的なフォローを行うなど、相談者に寄り添った支援に努めた。

区分	令和5年度実績	令和6年度実績
相談件数（来所・電話）	168件 / 年	102件 / 年



福岡市働く人の介護サポート
センターチラシ（令和6年度）

エ 在宅医療・介護連携推進事業（分野横断的取組）

令和6年度は、公募により改めて事業を受託し7月から事業を開始した。

福岡市における地域包括ケアの実現を目指し、“働き盛り世代”を対象とした『ゆる～く備える親の介護講座』、企業の人事・総務担当者を対象とした『仕事と介護を両立できる職場づくりセミナー』をオンラインだけではなく、会場開催とあわせて実施した。

医療・介護関係者に対しては、『地域包括ケア理解促進講座』『地域包括ケア実践促進講座』を実施したことに加え、今年度初めて『地域包括ケア理解促進講座オンラインフォロー研修』を実施した。

講座・セミナーを集合、オンラインの両方の形で開催するなどして、重点項目としていた参加しやすい講座の開催に努めた。

区分	令和5年度実績	令和6年度実績
ゆる～く備える親の介護講座 開催企業数	4件 / 年 (福岡100連携セミナー:4件/年)	6社 / 年 (うち1社は2回開催で7回実施)
仕事と介護を両立できる職場づくりセミナー受講企業(団体)数	16社 / 年	19社 / 年(24人)
地域包括ケア理解促進講座 動画視聴人数	316人 / 年	201人 / 年
地域包括ケア理解促進講座 オンラインフォロー研修 受講者数		8人 / 年
地域包括ケア実践促進講座受講 人数	27人 / 年	26人 / 年

オ 地域包括支援センター事業

市内の地域包括支援センター５７カ所中１８カ所において、地域の高齢者の身近な相談窓口として、「総合相談支援」、「介護予防ケアマネジメント業務」、「権利擁護業務」、「包括的継続的ケアマネジメント支援業務」の基本４業務を行った。

また、共通基盤である「多職種協働による地域包括支援ネットワーク」を駆使し、個別支援に重点を置き、一つひとつの相談に、適切かつ丁寧にかかわること、相談者・相談対象者の潜在力や主体性を引き出す支援に努めた。

さらに、担当する圏域の健康や生活課題の把握を継続し、地域の実情に即した「生活支援体制整備事業」、「地域ケア会議の開催運営業務」等の活動に努めた。

これらの結果、総合相談数（延べ）が、令和５年度を上回る実績となった。

区分	令和５年度実績	令和６年度実績
総合相談数（延べ）	１センター当たり ２，９４８件／年	１センター当たり ３，１５２件／年
会議・研修開催・関係機関訪問等の活動数	１センター当たり １９３件／年	１センター当たり １９４件／年

カ 介護予防ケアマネジメント（要支援１・２及び総合事業の対象者）

介護予防支援事業所（地域包括支援センター）において、要支援１・２及び介護予防・日常生活支援総合事業の利用者に対し、利用者とともに、自ら介護予防に取り組めるよう、日ごろの活動や健康管理等の具体的な目標を立て、介護予防サービス・支援計画を作成するとともに、介護予防サービス事業者との連絡調整、サービス担当者会議等を行った。

区分	令和５年度実績	令和６年度実績
介護予防サービス・支援計画作成数	１センター当たり １０６件／月	１センター当たり １０７件／月

（４） 協会の独自事業

① ささえ手サービス事業

介護保険制度等では対応できない高齢者や障がい者の多様なニーズに応じるため、入院中の支援や同居家族分の家事支援など、有料の訪問介護サービスを提供した。

区分	令和５年度実績	令和６年度実績
利用者数	４５．１人／月	３９．３人／月

② 福岡市介護保険事業者協議会の運営

介護サービスの質の向上を図るため、市内で介護保険事業を実施する法人で組織された福岡市介護保険事業者協議会の事務局を担当し、会員に対して行う、研修会、

情報提供等の運営に携わった。

会員のニーズに応えるかたちで、オンライン研修、対面研修、ハイブリット研修と多様な研修開催方法を実施し、多くの会員が受講できるよう努めた。

区分	令和5年度実績	令和6年度実績
会員数（3月末現在）	128法人	120法人

2. 理事会・評議員会 議案・報告事項

(1) 令和6年度 理事会 議案・報告事項

第1回 (決議の省略)	令和6年4月1日提案 令和6年4月1日決議	第1号議案	社会福祉法人ふくおか福祉サービス協会の専務理事の選定について
第2回	令和6年6月3日	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号 議案第8号 理事長の職務執行状況報告について 専務理事の職務執行状況報告について 報告事項(1) 報告事項(2)	定款細則の一部改正(案)について 令和6年度事業計画の一部変更(案)について 令和6年度補正予算(案)について 令和5年度事業報告について 令和5年度決算について 理事の選任候補者について 評議員選任候補者の推薦について 定時評議員会の招集について 福岡市在宅医療・介護連携推進事業(分野横断的取組)の応募結果について 福岡市西第2地域包括支援センターの移転について
第3回	令和6年6月20日	議案第1号	理事長の選定について
第4回 (決議の省略)	令和6年7月16日提案 令和6年7月19日決議	第1号議案 第2号議案	社会福祉法人ふくおか福祉サービス協会の理事の選任候補者について 決議の省略の方法による評議員会の招集について
第5回	令和6年11月22日	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号 理事長の職務執行状況報告について 専務理事の職務執行状況報告について 報告事項(1) 報告事項(2) 報告事項(3)	令和6年度補正予算(案)について 職員就業規則の一部改正(案)について 職員給与規則の一部改正(案)について 役員及び評議員の報酬等に関する規則の一部改正(案)について 決議の省略の方法による評議員会の招集について 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス提供開始について 入札結果について 評議員選任・解任委員会の議事録について

第 6 回	令和 7 年 3 月 26 日	議案第 1 号 令和 6 年度補正予算(案)について 議案第 2 号 定款細則の一部改正(案)について 議案第 3 号 職員就業規則の一部改正(案)について 議案第 4 号 職員給与規則の一部改正(案)について 議案第 5 号 令和 7 年度事業計画(案)について 議案第 6 号 令和 7 年度予算(案)について 議案第 7 号 役員等賠償責任保険の契約(案)について 議案第 8 号 任期満了に伴う評議員選任候補者の推薦について 報告事項(1) いとぼっぱ保育園の令和 7 年度入園(予定)児の状況について 報告事項(2) 苦情第三者委員の委嘱について
-------	-----------------	---

(2) 令和 6 年度 評議員会 議案・報告事項

定時評議員会	令和 6 年 6 月 20 日	報告事項(1) 監査報告について 報告事項(2) 令和 5 年度事業報告について 議案第 1 号 令和 5 年度決算について 議案第 2 号 理事の選任について
第 1 回 臨時評議員会 (決議の省略)	令和 6 年 7 月 23 日提案 令和 6 年 7 月 24 日決議	議案第 1 号 社会福祉法人ふくおか福祉サービス協会の理事の選任について
第 2 回 臨時評議員会 (決議の省略)	令和 6 年 11 月 25 日提案 令和 6 年 11 月 27 日決議	議案第 1 号 社会福祉法人ふくおか福祉サービス協会役員及び評議員の報酬等に関する規則の一部変更(案)について